



安心して生きる101

先日、本屋大賞が発表

され、今年は『カフネ』が大賞を取り、さっそく読んでみました。

内容は主役にあたる女性たちが炊事や掃除など何らかしらの理由があったりできない人たちへボラティア活動をしながら、人に迷惑をかけた



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長  
総合内科専門医・循環器内科医  
・日本循環器学会専門医  
・日本内科学会認定医  
・認知症専門医  
・認知症サポート医

ら、何かを感じ、ときに「何かを感じ、ときに自分の人生に投射するものでした。その中の文の」一つに「安心して食事を摂り、眠れる場を提供する」があり、生きるうえで一番大切なよなあと思いました。

私も訪問で訪れる、自宅の一つに、大酒家でききにお酒がこぼれ畳が染みついてしまい、万年床で寝るようになったり、良好な関係が得られています。日頃患者さん自身の生活をjていると、「この人は今の生活環境が故に、他人を受け入れられないのではないか？」と思う一方で、「こちらの支援が余計なお世話になっていないか」と思うところもあります。

ただ、今回の本や実体

[まつばらホームクリニック]  
 ☎ 042-439-1250  
 matsubarahomeclinic@gmail.com  
 西東京市東町 4-14-18-2F  
 ■電話対応：午前 9:00～午後 6:00  
 ■定休日：土日（祝日は診療）  
 ■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部  
 まつばらホームクリニック